

2019 年度 東京都山岳連盟ジュニア強化選手の選考について

東京選手権 [ボルダリング/リード] は東京都山岳連盟ジュニア強化選手の選考大会も兼ねています。

ジュニア強化事業は、東京都の国体選手育成などを目的に行われている事業です。

選手選考は、東京選手権（ボルダリング/リード）の成績を基本に、東京都山岳連盟スポーツクライミング局委員会の総合的な判断で行われます。

2018 年度の選手選考については、おおむね以下のように予定しています。

- ・**資格**：東京都内に在住または在学の小学校 5 年生～高校 3 年生の男女
- ・**人数**：15 名前後
- ・**条件**：ジュニア強化選手選出後、大会等では、東京都山岳連盟所属選手として活動すること。（他県連盟所属は不可）
リード・ボルダリングの双方に、意欲的に取り組めること。
東京都山岳連盟のジュニア強化選手として活動することを、保護者が承認すること。

ジュニア強化選手は、東京都山岳連盟指定講師による月 1～4 回程度の強化講習が受けられるほか、臨時講習・練習会や外岩講習などに参加できたり、クライミングにかかる費用の一部が助成されたりします。また、ジュニア強化選手は、JOC ジュニアオリンピック・関東小中学生選抜クライミング選手権大会等の都道府県ごとに参加人数制限のある大会において、優先的に参加申込リストの上位に登録されます。

■選考方法

1. 2018 年度中に、2019 年 JOC ジュニアオリンピックカップの日本山岳・スポーツクライミング協会推薦選手に該当する成績をあげた者*。

（*＝2018 年度の JOC、ユース選手権（リード・ボルダリング）他 公式全国大会の準決勝以上進出者など）

※所属強化班については、基本的には東京選手権の成績により決定します。

2. 東京選手権 [ボルダリング/リード] の両方に出場し、成績上位だった選手から選出。

（※順位は、東京都内在住・在学の選手だけの順位から算出する）

- ・リードとボルダリングの合計順位がより少ない選手ほど上位とする。
- ・リードとボルダリングの合計順位が同点の場合は、リード成績が上位の者を優先する。
（リードは、より高い安全意識・技術・経験を要するため）

① 2019 年度国体〈少年の部〉男女選手各 3 名（補欠含む）、計 6 名は最優先で強化選手に選出。

（国体選手選考方法は、別項「国体候補選手選考について」を参照）

② ①以外で、東京選手権 [リード/ボルダリング] 両方の少年男女カテゴリー（中 3～高 3）に出場した中で、成績上位の選手 若干名

③ 東京選手権 [リード/ボルダリング] 両方のジュニア男女カテゴリー（中 2 以下）に出場した中で、小学 5 年生以上で成績上位の選手 数名

事業の性質上、該当年度だけでなく将来の選手育成も見据え、男女・年齢層に偏りが出過ぎないように選出します。ボーダーライン上の選手については、コーチ・監督の意見も加味して選出の可否を決定します。

★なお、ケガ・病気・学校行事等やむをえない事情で、

東京選手権 [リード/ボルダリング] の一方しか参加できない場合、あるいは両方に参加できない場合、

- ・リード・ボルダー どちらか一方が優秀な成績の選手 若干名
- ・東京選手権前後の大会で優秀な成績をあげるなどし、東京都山岳連盟の監督・コーチ推薦を得た選手 若干名以上は、ジュニア強化選手に準ずる「強化候補選手」に選出されることがあります。

■選出についてのご連絡

選考対象者については、東京選手権 [リード] 終了後、初回強化講習日までに大会申込書類に記載された連絡先にご連絡いたします。

★ジュニア強化選手・強化候補選手の詳しい活動内容については、大会後、選考対象となった方にお知らせします。